記者発表資料

平　成　２３年　６月　２日
国土交通省　青森河川国道事務所

一般国道7号　弘前バイパス全線４車線化１ヶ月後の効果
～一般国道7号の走行速度が向上～

国土交通省　青森河川国道事務所では、弘前市内の交通混雑の緩和や、冬期における安全な生活道路の確保、地域産業の活性化等を目的に弘前バイパスの４車線化整備を進めてきたところですが、平成23年4月26日（火）に延長約1.3kmが4車線化開通しました。

これにより、すでに４車線で開通している区間（延長約 8.9km）と合わせて、弘前バイパス総延長 約10.2kmの全線が４車線で開通しました。

開通１ヶ月後の交通状況をお知らせします。

■ **交通量（平日平均）はほぼ横ばい。**

開通前（平成22年11月平均）18,711台/24h　→　開通後（平成23年 5月平均）18,042台/24h

■ **今回４車線化開通した区間の走行速度（平日）が向上。**

上り車線　開通前：40km/h　→　開通後：50km/h【10km/h向上】

下り車線　開通前：37km/h　→　開通後：51km/h【14km/h向上】

■ **今回４車線化開通した区間に向かう方向の渋滞長（平日）が短縮。**

【堀越交差点】　開通前：250m　→　開通後：200m【50m短縮】

【門外富岡交差点】　開通前：230m　→　開通後：120m【110m短縮】

※調査日：開通前平日　H22.11.10（水），開通後平日　H23.5.25（水）

※詳細については別添資料を参照してください。

※　今後も調査を実施し、整備効果を公表する予定です。

〈　記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社　〉

【問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
住所　：　青森市中央3丁目20－38
電話　：　017－734－4521（代表）
URL http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/toroidal/

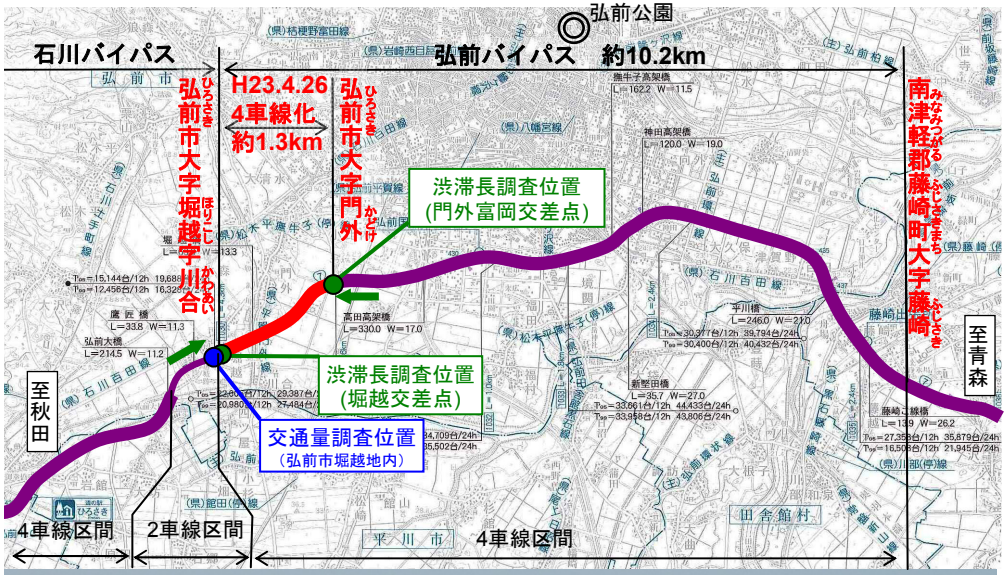
副所長（道路）　永井（ながい）　浩泰（ひろやす）（内線205）
調査第二課長　能勢（のせ）　和彦（かずひこ）（内線451）

［開通1ヶ月後］一般国道７号

弘前バイパスが全線４車線化して

（平成23年4月26日開通）

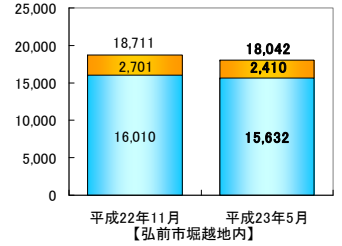
①国道7号の走行速度が向上しました。
②渋滞長が短縮しました。

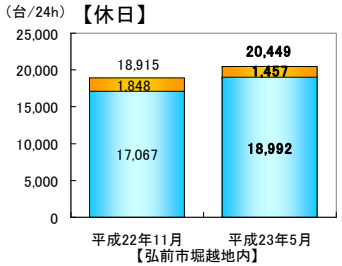



［平成23年4月26日に4車線化した弘前バイパス］

●4車線化した区間の走行速度が平日･休日の両方共に向上しました。
●特に下り車線（秋田→青森方向）の走行速度が平日では14km/h向上しました。
●4車線化した区間に向かう方向の渋滞長が短縮しました。

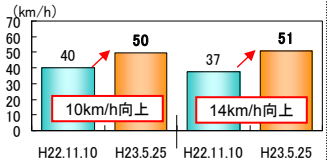
【交通量】

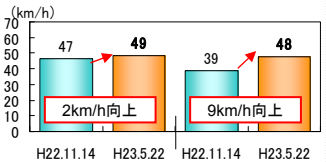




・平日の交通量は、土曜日・日曜日・祝日を除いた月平均交通量
・休日の交通量は、土曜日・日曜日・祝日の月平均交通量

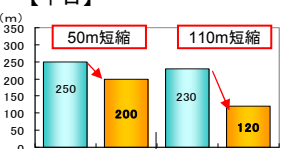
【走行速度】

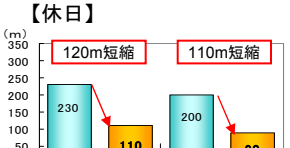




・走行速度は、7時～19時までの12時間の平均走行速度
・調査区間はH23.4.26に4車線開通した1.3kmの区間
・「上り車線」は青森→秋田方向
・「下り車線」は秋田→青森方向

【渋滞長】





・渋滞長はピーク（混雑）時間帯の最大渋滞長
・「堀越交差点」は秋田→青森方向の渋滞長
・「門外富岡交差点」は青森→秋田方向の渋滞長

一般国道７号 弘前バイパスの概要

・事業期間：昭和５６年度～（４車線化整備）
・総事業費：約１７０億円
・延　　長：約１０．２km（今回約1.3kmを4車線化整備）